

「被災する」ってどういうこと？

実際に災害が発生すると…

一瞬にして日常の風景が変わってしまい、何がどうなってしまったのか、これからどうしていけばいいのか、分からなくなってしまいます。



2022 台風8号豪雨



2021 熱海市土砂災害



2016 熊本地震



2018 広島豪雨



2011 東日本大震災

生活の立て直しに向けて

被災してしまった後も、生活をしていかなければなりません。そのためには、できることから始めていきます。自分たちのものは自分たちが片づけ（自助）、みんなが使用する道路の修復や壊れた家具や土砂などの片づけは行政が行います（公助）。

しかし、自分たち（自助）や行政（公助）が行うことができないことは「住民同士による支えあい」の活動（ボランティア活動）で行っていきます（共助）。



自分たちだけでは、
手におえない・・・



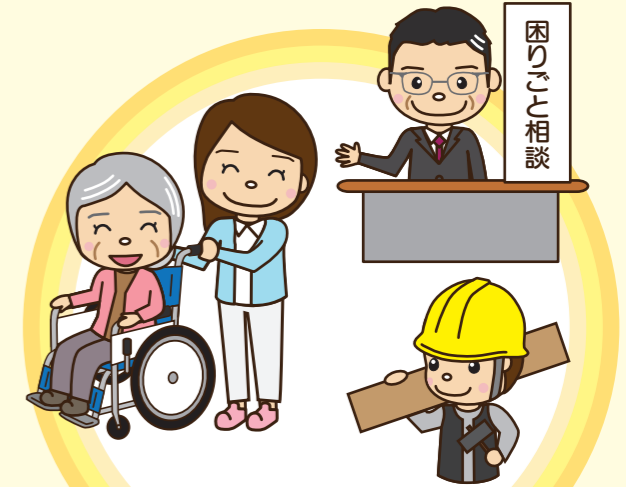
困っている人の
助けになりたい・・・

災害時のボランティア活動

災害時のボランティア活動は、「泥かき」や「炊き出し」だけではありません。被災者の年齢や家族、住んでいる場所などによって困りごとは様々です。その困りごとの数だけ、ボランティア活動があります。



被災地での活動



専門的な活動

様々なボランティア活動



物資による
支援活動



資金による
支援活動

「困っている人」と「何かできる人」を
「調整し、つなぐ」機能(ボランティアセンター)が必要



自分たちだけでは、
手におえない・・・



困っている人の
助けになりたい・・・